

ふみびと

第275号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

風に誘われ ひとり手紙時間

時間を煮込む

子どもの頃の林間学校のこと。歩いてキャンプ場に向かい、飯ごうでご飯を炊いてカレーを食べ、思い出作りはインスタントカメラで。家族への連絡は行列の公衆電話に並んで、お小遣いの許すほんの数分の会話だけ。今では考えられないくらい不便な中で数日は、それでも「不便」とは感じなかったもの。何をするにも時間がかかるものの、それなりにその時間の楽しみ方があつ

たような気がします。車での移動。ご飯はスィッチ一つで、写真も電話も手元で指一本で操作できる。そんな便利さもありがたいものですが、不便さが懐かしくも感じます。歩いているからこそ見える景色や生まれる会話苦勞して炊いたご飯の美味しさ。写真が現像されるまでの楽しみ。それはどれも「不便」が生んでくれた時間のような気がします。



数年前からよく売れているというインスタントカメラ。何もかも便利で何でもすぐに手に入る時代だからこそ、すぐには得られないものが新鮮なのかもしれません。

手紙もそんな緩やかな「時間」を楽しむもの。ペンを取って時間をかけて文字を書く。封をして宛名を書いて、切手を買ってポストに投函する。相手に届くまで一日二日。さらにそれが返って来る

こうだったらしいのに、と思うことは多い。もっと丁寧に時間を過ごせたらいいのに。もっと綺麗な字が書けたらいいのに。もっとお腹がへこんでいたらしいのに。もっと優しくなれたらいいのに。まずはできることからやってみる。今だけでも丁寧に茶を入れてみる。この一文字に気持ち

少しだけを楽しむ
しまうくらいに簡単なことでもいい。もちろん、それだけで理想が実現するわけではない。理想に辿りつく

には、長い時間と努力が必要だ。だけど、ひとまず、その道のりのはじめは忘れてしまおう。あまり考えすぎると、踏み出す足が重くなり、動かなくなる。とにかく「少しだけ」を楽しむのだ。千里の道も一歩から。だけど、一歩目から景色は変わるのだ。

風にゆられて誰かに届け!

風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ事務返信筒にのりをつけて、封筒に入れてください。局宛封下まで流し交わります。



次回発送日

6月の発送日は通常通り15日と30日です。送りたいお手紙がある場合には、それぞれ2日前(13日、28日)までに事務局に到着することを確認の上、余裕をもってポストに投函してください。

編集後記

大きく変わった日常も、変わらない日常になりつつありますが、文通村では今までもこれから、手紙のある穏やかな時間が流れています。人との物理的な交流ができずとも精神的に心ほっとする時間をお楽しみください。

